

5~11歳のお子さまを持つ保護者の皆さま



子どもへのコロナワクチン 本当に安全ですか？

あなたの大切な大切な子どもを守るために

必ず知ってほしいことがあります

子どもへのコロナワクチン接種を考える
-医療・研究の最前線から-



- 今使用されているワクチンは全て武漢株用のものです
- ウイルスが変異するごとにワクチンの効果は下がります

感染症対策分科会 尾身会長もオミクロン株への発症予防効果は20%と発言(12/23 記者会見)

**ワクチン開発は常にウイルス変異の後追いであり、
ワクチンでの感染対策にはそもそも無理があることを知らなくてははいけません**

コロナワクチンは



人類に初めて使われる遺伝子ワクチン※1で

臨床試験※2を終えておらず

体の中でどのように作用するか分からず

効果も中長期的な安全性も十分に確認されていません

※1 インフルエンザワクチンなどはメカニズムが全く異なるものです

※2 新しい薬や治療に対して効果や安全性を確認するために行われる試験のこと

過去に例を見ない死亡・重篤者数が厚生労働省より発表されています

接種後
死亡報告

1,444件

(その内10代は6人)

接種回数 約1億 9000万回 2022年1月21日現在

接種後
重篤報告

6,370件

(その内10代は387人)

今も日常生活が困難、学校に行けないという子ども達がいま

インフルエンザワクチン 接種回数 約5,600万回

死亡報告 6人

重篤報告 148人

死亡者数

70倍以上

重篤者数

12倍以上

すごい差じゃない？





それでも
コロナに
かかったら
大変だから

令和4年2月1日時点の
厚生労働省の新型コロナウイルス感染症の国内発生動向(速報値)によると

重症率
致死率 **0.0%** (重症者数4人)
(死亡者数4人)

10代以下

コロナワクチンによる死亡報告例(6人)の方が多いのです

子どもの人生に“薬害”が影を落とすことがあってはいけません

感染しても大半が無症状で重症化しない子どもに本当に必要か考えてみましょう

今回の第六波では、子どもの感染が多いと報道されています

心配ありません!コロナに感染しても大丈夫!
ワクチンで作るよりもずっと強い免疫を手に入れることができます



お子さまが病気になるのは不安ですよ。当然のことです。
子どもは風の子と言われるように、鼻水や熱を出しながら免疫を鍛え元気に成長し、
抵抗力を身につけていくものです。



そうは言っても
対策しないのは
怖い...

人間には体力や免疫によって自然治癒する力が
備わっています。それは新型コロナウイルス
感染症も例外ではありません。

お子さまには

外でよく遊び(ビタミンDを生成)、よく食べ(必要な栄養を摂取)、
十分な睡眠を取ることで免疫をしっかり機能させましょう!

過度な消毒は常在菌を殺し、かえって免疫を下げてしまいます。
マスクはウイルスを防ぎません。子どもの着用にはリスクがありますので慎重に!



◆子どもは未来そのものです◆

保護者のみなさん、お子さまへの未知のワクチン接種は慎重に!

《北海道有志医師の会》

代表発起人： 藤沢 明徳
一林 正剛 梅田 弘胤
川西 輝明 工藤安紀子
鄭 鍾美 津野 理園
藤岡 洋介 藤原 明洋

大池三千男
末武 敬司
中川 雅文
牧野 孝一

特別顧問：井上 正康 (大阪市立大学名誉教授・現代適塾 塾長)
岡澤林太郎 沖田 一希 賀陽 真哉 川崎 和凡
関根 徹 高橋 浩司 田中 智 田谷 智
波岡 英治 仁平 洋 橋本 英樹 原田 雅仁
松岡 健 山川 智士 山田 幸恵 吉野 光晴

賛同して頂ける医師、歯科医、獣医の方を随時募集中! お問い合わせはメールにてお願いします! fujisawa.peace@mac.com (他、賛同人4名)